

留学報告書

記入日：2023年12月29日

東京電機大学での情報	
学部／研究科	未来科学研究科
学科・学系／専攻	建築学専攻
留学期間	2023年 2月 20日 ～ 2023年 11月 20日

留学先情報	
大学・機関名	クイーンズランド工科大学
国名	オーストラリア
留学先での所属・専攻・身分	所属（学部等）：Engineering 専攻：Architecture and Built Environment 在籍身分：Exchange Student

留学準備	
事前語学学習方法	IELTS 試験対策（リスニング：公式問題集シャドーイング／リーディング：公式問題集精読・音読／ライティング：IELTS Blogの過去問を暗記し、型を身につける／スピーキング：フレーズ暗記→オンライン英会話で先生に試験問題を渡し、実践を積む）試験対策が留學生活においての基礎英語力にもなりました
準備で苦労したこと	IELTS 試験で合格点をなかなか取れず、試験対策と大学の授業との両立に苦労しました。留学を決めた時から少しずつ計画的に対策をするべきだと思います。
ビザの種類	Student (subclass 500)
申請先	Australian Government Department of Home Affairs
提出書類	パスポート、CoE、OSHCの加入証明書、GTE（小論文）
申請費用	AU\$650
申込手順	大学に入学許可書（CoE）を申請→ImmiAccountを作成→アカウントから学生ビザを申請（必要書類のアップロード）→申請料金の支払い→ビザレターの受領
ビザ取得所要日数	即日（時期によるそうなので1ヶ月は余裕を見た方が良いでしょう）
大使館等での面接	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有→聞かれた質問：
他に留学に必要な準備	家探しとその契約（学生寮など）／現地履修科目の相談／留学期間を通しての資金計画／計画的な荷造り／英語学習（リスニング）

現地到着後	
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有→ <input checked="" type="checkbox"/> 大学関係者 <input type="checkbox"/> その他 () 無→空港から大学までどのように移動しましたか？ <input type="checkbox"/> 電車・地下鉄 <input type="checkbox"/> バス・トラム <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> その他 ()
オリエンテーションの有無/時期/内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 時期：2023年2月20日（到着日） 内容：学生証の受け取りについてや履修説明など
渡航後必要な手続き	大使館への在留届提出（オンライン）/公共交通機関用プリペイドカードの発行（Go Card）/SIM 契約/（*アルバイトをするなら：銀行口座開設・TFN 申請）
大学の雰囲気	色々な国の方がいる国、大学なので比較的賑やか。図書館は学習意欲の高い雰囲気が漂っている（いつも満席）。

生活について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 寮（寮名）：Student One Wharf Street <input type="checkbox"/> アパート/ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の場所	<input type="checkbox"/> キャンパス内 <input checked="" type="checkbox"/> キャンパス外 キャンパスまでの距離： <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車・地下鉄 <input type="checkbox"/> その他 () で約 20分
部屋の種類/同居人	<input checked="" type="checkbox"/> 1人部屋 <input type="checkbox"/> 2人部屋 その他 同居人： <input type="checkbox"/> 有 (人) <input type="checkbox"/> 無
共有部分	<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> その他 ()
食事	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 寮食 <input type="checkbox"/> 大学内学食 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()
ミールプランへの加入	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有→加入したプラン ()
住居について注意事項	退去手続きの際にあるボンドクリーニング（敷金が返ってくるかの検査）がとても厳しいので、日頃から綺麗に部屋を使用することが大切。高層階になると電波が弱い（格安SIM）。
銀行開設	<input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> しなかった 銀行名：NAB

生活費等支払い手段	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> デビットカード <input type="checkbox"/> 海外専用プリペイドカード（キャッシュパスポート等） <input type="checkbox"/> その他（ ） アドバイス：キャッシュレスが基本の生活になります。
携帯電話	<input type="checkbox"/> 購入した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
現地での友人等との連絡手段	<input type="checkbox"/> LINE <input type="checkbox"/> Facebook <input checked="" type="checkbox"/> WhatsApp <input type="checkbox"/> Gmail <input type="checkbox"/> iMessage <input checked="" type="checkbox"/> その他（Instagram）
病気や怪我等での通院	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 有→ <input type="checkbox"/> 大学内のクリニック <input type="checkbox"/> 最寄りの医療機関 <input type="checkbox"/> その他（ ）
医療関係の注意事項等	日本から解熱剤や頭痛薬など一通り持っていくと良いと思います（安心材料としても）。

授業について	
授業期間	2023年 1学期： 2月 20日～ 6月 23日 2023年 2学期： 7月 24日～ 11月 17日
履修登録	<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 時期： 2月頃 方法： <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> 志願書類に記入 <input type="checkbox"/> 国際オフィス等 <input type="checkbox"/> その他（ ）
履修した科目名	(2023年 1学期) ・ Academic Communication 1 ・ Academic Communication 2 ・ Urban Analysis (2023年 2学期) ・ Sustainable Urban Design ・ Plant Design Studio ・ Community Planning
授業・履修に関する注意事項	1科目ごとの課題の量がとても多いので、履修する科目数は自分のキャパシティと相談した方が良いと思います。加えて、英語系の科目を前期で履修すると留学の導入としてとても役に立ちます。

費用について			
項目	詳細	費用	支払方法
渡航費	往復航空券	355,280 円	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
ビザ申請料	申請当時	60,671 円	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード

住居費	2週間に1度引き落とし	1,906,918 円	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
学費	授業料	1,348,704 円	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
教材費		35,231 円	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
保険料	大学指定の保険	141,440 円	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
食費	月 35,000 円ほど	315,000 円	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
日用品	調理器具/布団/掃除用具等	100,000 円	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
交通費	月 1,000 円ほど	9,000 円	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
携帯代	Amaysim	22,500 円	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
総額 (概算)		約 4,500,000 円 (事前学習費等別)	

留学のきっかけ

留学のきっかけは大学入学時に神山治貴海外留学奨学金の存在を知ったことです。高校時代から漠然と海外へ留学したいと思っておりましたが、家庭の経済的な事情もあり奨学金なしでの長期留学はほとんど不可能に近いと感じていました。そんな中、入学式の数日後に開かれた新入生ガイダンスで神山治貴海外留学奨学金の存在を知り、何としてもこのチャンスを掴みたいと思い、入学時から目標に設定したことがきっかけです。

留学の目的

留学の目的は大きく3つありました。1つ目は、英語でのコミュニケーションスキルの習得です。この先グローバル化が進むにつれ、海外だけでなく、日本で仕事をしていても英語は必須となってくると思います。留学前のIELTS試験でネイティブの先生との面接試験をする機会がありましたが、聞かれたことに対してとっさに自分の考えていることを伝えられず、とても悔しい思いをしました。将来、自分が携わる仕事の中で外国の方と関わる機会があった場合に、コミュニケーションの段階で苦戦してしまっていては生産性の高い仕事はできないと思い、学生である現段階で将来に必要なスキルのひとつを身につけておくべきであると感じました。2つ目は、日本とは異なった価値観をもつ学生に囲まれた環境で長期間、学業に励みたいと思ったからです。過去にこの奨学金を利用し、海外の大学に留学した先輩の報告書を読んでいると、海外の大学に通う学生が授業に取り組む姿勢について触れられているものが多くありました。積極的に学生が発言し、能動的に参加していくことで授業が進んでいくという環境は日本ではなかなか経験できないものであり、反対にそのような環境に長期間身をおいて授業に取り組むことで、日本では身につけることができない価値観を得ることができ、それはこの先の社会でも求められる姿勢であると思います。3つ目は、私が現在行っている研究をより深めたいと思ったからです。私は都市デザイン研究室に所属しており、「大規模建築物を伴う開発地区における再々開発手法の検討に関する研究」というテーマでニューヨークを対象に研究を行っています。この研究は日本の都市計画の本来の輸入元がアメリカであったという背景から、

先行事例であるアメリカの再々開発について調査することで将来の日本の再々開発への知見を得る目的で行っています。私が進めている研究のように、日本の都市について考える上で海外の事例が参考になるケースはまだまだあるのだと思い、またこれから都市の開発分野に関わるうえで海外の都市を文献だけではなく自分の目で実際に見て、現地では様々な体験を通して学んでいきたいという想いがありました。以上の3点を目的に留学生生活を過ごしていました。

留学生活（学習面）

セメスター1とセメスター2で授業の雰囲気や課題量などの違いがありましたので、分けて記載します。セメスター1では入学要件であった英語科目2つと自身の専攻の導入となる科目、都市分析を履修していました。英語の科目の雰囲気は日本人含めたアジア系や南米系、ヨーロッパ系などの留学生に加え、地元の学生も履修していて、多国籍な雰囲気を味わう環境でした。内容としては大学の授業で必要となる論文の読み方や書き方、アカデミックなディスカッションを学ぶものであり、留学生活の最初に履修する科目として相応しい内容でした。セメスター2では自身の専攻と関係性の高い、3科目を履修しました。授業で使用される言葉が専門用語ばかりであったり、出題される課題の難易度など前期に比べ、とてもレベルの高い内容でした。普段電大で専攻していた科目であっても英語の専門用語にはとても苦労したのと、同時にたいへん勉強になりました。また課題の量に関しては、履修したすべての科目が授業外で毎週6～10時間ほど必要な分量が出題されていたため、3科目の履修でも成果物のクオリティを担保することに苦労しました。一緒に授業を履修していた周囲の学生の雰囲気については、セメスター2では大学院の科目を履修していたこともあり、授業での発言や成果物の質などのレベルが高く、また成果物の質を高めることへの熱量がとても高く、一緒に履修しているなかで毎回刺激を受けていました。通年のカリキュラムを通してQUTで学ぶなかで、現地の実務で活躍されている先生方から英語で自身の専攻分野についての知見を深められたことはもちろん、将来へのビジョンや成果物への熱量がとても高いクラスメイトと一緒に授業を受けられたことは私の人生において、たいへん貴重な経験となりました。

留学生活（生活面等）

平日、休日、アルバイト勤務日の3点に分けて記載します。平日は、寮がシティにあったので、授業の後に買い物をして寮で自炊をするか、友人とシティで外食をしていました。オーストラリアは物価が高いため基本自炊をしていましたが、スーパーがとても大きく、食材や調味料、お菓子など種類が豊富で日本ではみたことのないものにも出会えるので毎回ワクワクしていました。また友人と外食をする日には台湾の友人とよく会っていたので、台湾料理を食べることが多かったです。オーストラリアは多文化の国なので、外食も様々な国のお店が混在していて選択に迷うほどでした。休日については近場のカフェ

に出かけたり、少し足を伸ばして遠くの観光スポットに行っていました。シティ中心部のクイーンズストリートモールにはアパレルや雑貨、食品など何でも揃っており、また雰囲気の良いカフェもとても多いので、コーヒー好きの私にとってはとても良い環境でした。また遠出では電車を 2.5 時間ほど乗り継いでゴールドコーストのビーチに行ったり、空港近くのアウトレットモールに行ったり、その他グラスハウスマウンテンズという山やコアアラ園など観光アクティビティも豊富な環境でした。その他、土日には近くのカフェでアルバイトをしていたので、朝から夕方までコーヒーを作ったり、英語で接客したり、同僚と談笑したり、学校とは違った英語でのコミュニケーションを学んでいました。

一年を通して、日本のような季節間での寒暖差が少なかったり、都市がコンパクトで移動がしやすかったり、中心を流れるブリスベン川の舟運や沿道が心地良かったり、人の雰囲気も暖かい人が多かったりと留学生活を送るうえで私自身とても恵まれた環境であると感じておりました。

留学を通して得たもの

特に3つのことを留学経験で得ることができました。1つ目は自身の専攻に係る知識です。Urban analysis, Sustainable urban design, Community Planning, Plant design studio の4科目履修のなかで、現地や世界の都市デザイン実務で活躍されるアーバンプランナーの方や植栽をデザインするランドスケープアーキテクトの方から直接教わることができ、細かい分析手法からダイナミックなデザインスキームまで学ぶことができました。今後修士研究を行うなかで生きる知識が身についたと感じています。2つ目は関係構築力です。英語でのコミュニケーションスキル獲得を留学当初は目的としていたなかで、大学での授業やアルバイト、友人との会話を通して英語での日常会話スキルを獲得することができました。一方、日本での生活では経験することのない、言葉が通じにくいなかでの関係構築を味わい、ノンバーバルなコミュニケーションや相手の気持ちを考え抜くことなどに工夫することで関係構築力も学ぶことができました。3つ目は世界の友人です。オーストラリアは人種のるつぼと言われるだけあり、大学やアルバイト先、街中などで本当に様々な国の方々と関わる機会がありました。そのなかでアジアや南米、ヨーロッパ圏など多様な国の友人を作ることができました。私自身、現地では日本人の友人を作らないと最初から決めていたこともあり、日本人とは関わることはありませんでしたが、その分多くの国の方と関わったと思っています。この留学生活でできた友人は将来グローバルに仕事をしたり、旅をするなかでさらに大切にしていきたい仲間であると思っています。貴重な海外での生活を通して、知識や英語スキルだけでなく「人」として多方面で成長できたと感じています。

今後の学習計画

英語スキル・自身の専攻に係る知識の特に2面で今後も学習を進めていきます。英語スキ

ルに関しては、実際に海外で生活をするなかで気づくことのできた自身のリスニング力・スピーキング力の低さを特に補いたいと思っています。資格勉強用の英語力ではなく、実践で必要となる英語力のレベルの高さや勉強すべき技能についてこの9ヶ月で理解ができたと感じています。将来グローバルな環境で働いた時に言語スキルにおいて、同じような苦勞をしないためにも、足りない箇所についての学習を今後深めていきたいと思っています。自身の専攻に係る知識については今後、海外の論文についても知見を広げるため、積極的に調査していきたいと思っています。セメスター1に行った英語科目のなかで学んだ英語論文の調査方法を活かすとともに、今後控える国際学会に向けて、アカデミックなスピーチ力等も身につけていきたいと思っています。

留学を考える方へメッセージ

私の報告書を最後までお読みいただきありがとうございました。私も大学入学後から留学を目指すなかで先輩方が書いてくださった報告書を拝見していました。留学生としてのリアルな学習風景や生活風景を想像できる素敵な報告書ばかりでした。この報告書もそのような存在になっていると嬉しいです。私は先輩方の報告書を拝見したり、海外での生活風景の動画を見るなかでキラキラの留学生生活を想像していました。しかし実際に現地での留学生活を送ってみるとキラキラした部分よりも苦勞する部分の方が圧倒的に多かったというのが正直な感想です。私の英語力が低かったこともあり、授業についていくために2回ずつ授業を受けたり、最初の友人を作ることに苦勞したり、プレゼンやディスカッション課題の際に英語がペラペラの友人達を羨ましく感じたりと、日々ついていくことに必死でした。しかし、人脈も友人も何もなく海外で生活し何かを学ぶという経験は私の人生にとってたいへん貴重な機会でした。上記「留学を通して得たもの」で記載したような多くのことを学ぶことができ、改めて私は今回、留学の機会を頂くことができ、たいへん感謝しております。最後に、大変な部分ばかり書いてしまいましたが留学生活にはもちろんたくさんの楽しいこともあります。成績条件や英語試験の勉強など、準備が大変と感じる部分もあると思いますが、素敵な留学生活がきっと待っていますので頑張ってください。留学生活が“素敵”であると自信を持ってお伝えできます。応援しています。